

ひだまり

2003年10月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261

Fax 0424-77-7500

HP <http://www.moth.or.jp>

発行責任者/高原 敏夫

編集責任者/萱野 彰一郎

ご存知でしたか?



<写真1>



<写真2>



東久留米とともに歩んで数十年のわたくし吉田がご案内いたします。

<写真1>「二宮尊徳像」。わが母校、東久留米市立第一小学校正門横に立っていると思っ
て行ったら、昭和54年の台風で破損して以来建物の中に移動していました。

<写真2>「たての緑道」。何の変哲もない遊歩道ですが、戦時中に東久留米駅から中島
飛行機の工場(現ひばりが丘団地)に敷かれた引込線の線路跡です。

地域の中のマザアス

淡いピンク色の外壁タイルが「何人にも優しく」と語りかけてくるようで、福祉の世界が始めての私には「このイメージのように接することができるだろうか」と不安でもあった。

当初は訪れる人もボランティアも少なく、施設の静けさと駅前の喧騒との差に奇異の念を抱いた。

デイサービスの送迎車が地域を走り出した頃、国や自治体が「高齢化対策を」と、よりきめ細かい施策を講じ始めた。

一方、施設内ではボランティアが徐々に目立つようになり、送迎車の行く手を阻む路地の駐車も姿を消してきた。

「デイサービスセンターって何?」「老人ホームにはどうすれば入れるの?」「うちの娘

通所サービス課主任 吉田 義男

も福祉の学校に行っているのだよ」地域の集まり、立ち話し等でこのような声をかけられる機会も数多くなってきた。

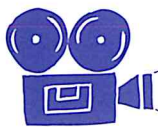
「マザース」から「マザアス」へ宛名書きも正しく記されるようになった。

「ここなら保護をしてくれるだろう」と、お互い見知らぬ徘徊の方をお連れしていただいたご近所の女性。

「引越し先には場所が無いから」とご近所から頂いた梨の木もびわの木も年を増すごとに大きく育ってきています。

開設以来8年数ヶ月、地域のランドマーク的存在にもなり、高齢者福祉に必要な事業を展開できるようになったのも地域の皆様方の有形・無形の「ささえ」の賜物です。

サークル紹介



映画を 楽しむ会

映画を通してできること

生活介護課 佐藤 昇平

一つのことを通して、職員だけでなく入居者の方々も含め、お互いの気持ちを共有できる場があったらいいな…そんな思いで、「映画を楽しむ会」をつくりました。

映画のいい所って、自分が普段体験したことがない世界を通して、心にゆとりを持つ事ができるからだと思うのです。だからより多くの入居者の皆さんといっしょに映画を楽しみたいと思っています。

すばらしきシネマワールド

総務課 関口 乙彦

この会が始まって、より多くの映画を鑑賞するようになりました。映画は、あくまで劇であり、そのほとんどが作り話なのですが、その中にも共感を持てる感情が沢山盛り込まれています。中でも私のお勧めは「ショーシャンクの空に」です。絶望的な状況にあっても決して希望を捨てない主人公は、何か忘れかけていた感情

を思い起こさせてくれます。映画って本当にすばらしいですね。

一人より二人、二人より…

生活介護課 井上 アヤ子

映画好きが集まり始まった「映画を楽しむ会」。私にとっての映画の時間は、心の洗濯時間であり、素直に笑ったり泣いたりできる時間。一つのストレス発散法にもなっています。特にこの分野の映画が好きというものはなく、周りの人から「この映画が良かったよ」と聞くと、ビデオなどを借りて来たりしています。一人でゆっくり見るビデオも良いですが、仲間とワイワイ画面を囲んで見る映画も良いものだと感じている今日この頃です。

★毎回参加してくださる入居者、志賀妙子さんに感想をいただきました。

月一度位、若いケアさん達が、映画の会を開いて下さる。私はほとんど欠かさず参加するのが楽しみになってしまった。

テーマは実にバラエティーに富み、新作洋画、アニメ、時代劇とあるが、どれもよく選ばれ工夫のご苦労が偲ばれる。私と四十数年も距たる年代の人々との共有できる感動は、人間、いつの時代もそんなに変わっていないと実感する時間でもあるのだ。嬉しいです。

特養行事「敬老会」の報告

今回で9回目を迎えた敬老会は、敬老の日の9月15日(月)におこなわれました。利用者さん、そのご家族、職員など多数がつめかけ、男声合唱団ダンディーズによる演奏などを楽しみました。



力強い歌声に「元気」をいただきました

楽しかった二人羽織

生活介護課 本康 淳子

9月15日敬老会が行われました。今年度の最高齢は98歳。そのお元気な姿を見ると頭が下がります。明治生まれの方、今では何人の孫、ひ孫さんがいらっしゃるのでしょうか？

さて今年の職員の出しものは「二人羽織」。練

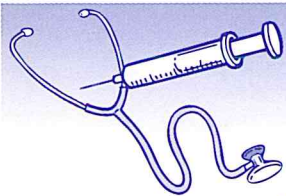
習なしの一発勝負。やるならおもいっきりやった方がおもしろいはず。私が前になりましたが、皆の視線は隣りの方へ。どうやら女性で組んだ私達は上手くメイクが出来てしまった様子。隣りの顔を見たら口裂け女になっていました。次のお題は「ケーキ」。この分なら食べることが出来ると思ったのも束の間、今度は下手すぎてケーキがとれません。ぐちゃぐちゃになってしまいましたが、最後までがんばったおかげで一口食べることが出来ました。おいしかったです。

そして、顔を上げると皆の楽しそうに笑っている顔がありました。応援ありがとうございました。やっている私達も楽しかったです。

ご長寿おめでとうございます。



この人に注目!!



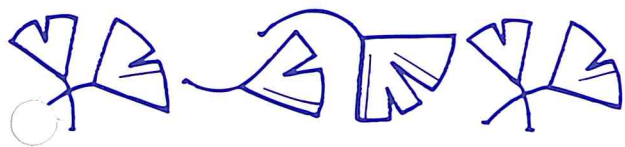
声の欄

死ぬということ、生きるということ

石橋クリニック 石橋 幸滋

最近いろいろな事件が報道されているが、人の死が簡単にもたらされていることに驚きと悲しみを感ぜずにはいられない。これはいったいどうしてなのであろうか。命の尊さ、死のもたらす恐ろしさに人々が無関心になりつつあるというのだろうか。確かに、日本は平均寿命が大きく延び、世界一の長寿国となった。これは大変喜ばしいことである反面、死というものが我々にとって遠い存在となってきているのではなかろうか。

確かに毎日誰かの死が報道されているし、全世界では毎日多くの命が奪われていることは、みんな知っている。しかし、それはあくまでテレビや新聞の中のことであり、実際には、悲しい死、苦しい死、安らかな死、そして別れなどに、滅多に遭遇しなくなっている。また、核家族化および少子化により、生命の誕生の感動を味わう機会も減っている。このような社会状況が、人の死をどう受け止めるかという人間の心理に大きな影響を与えている。皆さんは身内の死に遭遇したとき、どの様なことを考えられるのであろうか。



私も、毎年いくつかの死に出会う。今までの23年に渡る医師生活で、忘れられない死も少なからずある。そのほとんどは、年も若く、まだ死ぬべきではないと思いながら、自分の力量のなさや、最新医学を持ってしても救えなかった壮絶な死である。このような死は常に鮮やかに思い出せるが、高齢で寿命をまっとうしたと考えられる死やこのまま生きていても患者さん自身の尊厳を損なうだけではないかと思っていた方の死は、残念ながら記憶の底に沈んでしまう。誰にとっても死は同じものであるにもかかわらず、その死を選別している自分がそこにいる。

また、生きるということはどういうことであろうか。自分自身は人生の目的を持ち、日々の生活を楽しんで生きている。それでも、あまりの忙しさや家族と共に過ごす時間のなさ、これといった趣味のない生活を、本当にこれでいいのかと反省することも少なくない。そして、そ

んな生き方をうらやましいという人もいれば、そんなに頑張っとうするのと警告してくれる人もいる。おそらく、この生き方で良かったかどうかは、もっと後で結論が出てくるものと思っているが、さて、患者さんの生きるということに、医師としてどう対処していけばいいのか迷うこともしばしばである。



マザース回診中の様子

私が担当しているマザースの入居者および自宅に訪問している患者さんは現在60名ほどであるが、同じように寝たきりであっても、また同じ程度の痴呆であってもその表情はそれぞれ違う。患者さん達は生きるということはどう考えているのだろうか。訪問に行けば死なせてくださいと毎回拝む患者さんがいると思えば、絶対に元気になって旅行に行くんだと頑張っている患者さんもいる。命の尊さはもちろんであるが、その人の人生、その人らしさをどうとらえていくか、自宅で死を迎えるのか、病院で死を迎えるのか、はたまた施設で死を迎えるのか。その選択は誰がするのか。本人が本心から望む死に場所はどこなのか。またどの様な死なのか。死を迎えるまでの人生をどう生きるのか。またどう生きたいのか。考えればきりが無いが、その答えは誰がくれるのか。

本来ならば、全ての患者さんおよび家族と死ぬことや生きることについて話し合わなければならぬのであろうが、それだけの時間的、精神的余裕もない。ましてや、自分が生きることに精一杯の人間が何かを言える立場でもない。しかし、患者さんの人生に踏み込んで行かざるをえない医師として、いったいどうすればいいのかまだ迷っている今日この頃である。

平成15年度

秋光祭

のご案内

- <日時> 10月30日(木)～11月2日(日)
午前10時～午後4時
(ただし、
2日(日)は午前11時～午後3時)
- <場所> マザアス東久留米敷地内
- <内容> 作品展示、写真展示、喫茶、茶道、
詩吟の発表など
2日(日)はフリーマーケットもあります。



昨年度の秋光祭の様子

フリーマーケットに 出店しませんか!

- <日時> 11月2日(日)午前11時～午後3時
- <場所> マザアス東久留米敷地内
(雨天時は建物内)
- <売場> 2～4 畳位まで
(一部テントの準備あり)
- <出店料金> 売上の10%(自己申告による)
- <注意事項> ●なま物の販売はできません
●開催中は会場内で車両の移動はできません
- <お申し込み・お問い合わせ>
マザアス東久留米 総務課 関口
TEL. 0424-77-7261
※土・日・祝を除く 8:45～17:45

趣味活動

生け花



高橋恒子さん作

毎月第1、第3金曜日に、ボランティアの方のご指導のもと、生け花を楽しむ時間がもたれています。季節の花を使って見事に作品をつくりあげるその手さばきは、なかなかのものです。次回が待ち遠しいですね。



心が静まるひとときです

特別養護老人ホーム
マザアス東久留米

Tel 77-7261
Fax 77-7500

デイサービスセンター
マザアス氷川台

Tel 77-7263
Fax 77-7500

ヘルパーステーション
マザアス氷川台

Tel 77-7260
Fax 77-7500

居宅介護支援事業所
マザアス氷川台

Tel/Fax
70-1740

老人デイサービスセンター
マザアス大門

Tel 70-0065
Fax 70-8024

東久留米市東部
在宅介護支援センター

Tel 73-9996
Fax 73-9986

グループホーム
たきやま

Tel/Fax
77-1525

グループホーム
ひかわだい

Tel/Fax
77-2150